

## 令和6年度事業計画書

公益財団法人徳川黎明会

## 基本方針

当財団は、本年度も引き続き、これまで蓄積してきた豊富な実績を基盤に、美術・史学の調査・研究等に一層の研鑽を重ね、その成果について、教育・普及活動等を通じて、広く社会に提供・貢献する。また、尾張徳川家伝来の美術工芸品・歴史資料、保有する貴重な国内外の美術品・資料等について、展示・研究発表等を通じて、社会に公開し、文化・芸術の振興に努める。

### 1. 本部・総務部

数年度に亘る新型コロナウイルス感染拡大により多大な影響を受けた後、昨年ようやく経済・社会活動も平常化に向かう中、本部・総務部は、令和6年度も引き続き各種業務の効率化に努め、各事業所を統括・支援するとともに、法人全体の円滑な事業活動を推進する。

### 2. 徳川美術館

新型コロナウイルス感染症の5類移行とともに、経済・社会活動全般の平常化・活発化傾向が顕著となった中、令和5年度の美術館来館者数は、事業計画目標を上回り、20万人前後となる見通しである。この数字は、コロナ禍以前の年間来館者数の水準を概ね回復したに近く、大河ドラマ「どうする家康」に因んだ特別展、特集展示、催事等を年間を通じて企画したことで、旅行会社企画ツアー等も増え、団体客の戻りも明確に感じられた。令和6年度においては、コロナ禍後の経済・社会活動の回復が更に進展することを見込むとともに、大河ドラマ「光る君へ」によって「源氏物語」が広く一般に話題となることも考慮し、関連する展示や企画を事業計画に取り入れることとして、来館者数の目標値を21万人と設定している。また、大阪・あべのハルカス美術館（4～6月）及び東京・サントリー美術館（7～9月）において「徳川美術館展 尾張徳川家の至宝」を巡回展として開催予定である。なお、令和6年度に第5年目となる文化観光拠点計画の実施については、専門家によるコーチング・チームの指導や、設備更新に対する国庫支援を得ながら、文化観光資源の磨き上げを継続し拠点施設としての魅力拡大を図ることとしている。更に令和7年度には美術館開館90周年を迎えるため、これを機に美術館事業への支援を更に拡大すべく、会員制度のリニューアルを令和6年4月に行い、また物販事業を含む収益の一層の拡大にも努め、安定的・持続的な事業基盤の形成を目指すこととしている。

### 3. 徳川林政史研究所

開設101年目に当たる令和6年度、当研究所は例年通り所蔵史料の整理・公開を進めつつ、尾張藩・林政史研究を推進していく。尾張藩研究に関しては、当主の事蹟をまとめた「事蹟録」の原稿化・データベース化作業を継続すると共に、尾張家が大家に贈った品物を書き上げた「儀物軌式」を八木書店から史料纂集として出版する予定である。林政史研究については、内木家所蔵史料調査の成果として、尾張藩林政史の実態を解説したブックレットと内木家文書の史料集を編集・刊行する。教育・普及活動においては、例年通り徳川美術館と連携した講座を予定しているが、他機関からの出講依頼にも積極的に対応していく。若手育成に関しては、昨年度から着手した八雲事業所の所蔵史料を若手中心に撮影し、史料保存に努めていく。併せて若手研究者に働きかけて、未整理史料の整理・分析を進め、研究成果を発信していく。

なお各事業拠点における実施事業詳細については次葉以降に記載の通りである。

## I.公益目的事業

### [ 公益事業 1 ] 美術館の運営事業（徳川美術館）

#### 1. 美術品の展示・公開・修理・保存・収集

##### (1) 展示・公開

###### ①名品コレクション展（第1～5展示室）

収蔵品中の名品を中心に、第1展示室では、甲冑・刀剣ほかの武具を展示する。また、第2展示室では、茶碗・茶入ほかの茶の湯関連品、第3展示室では香炉・掛軸ほかの書院飾り関連品、第4展示室では、能面・能装束ほかの能狂言関連品を、各々名古屋城二之丸御殿の茶室・書院・能舞台を復元した展示室で展示する。第5展示室では、婚礼調度をはじめとする「奥道具」を紹介する。これらの展示室では、年度内に4回、概ね3か月ごとに大きく展示替えを実施し、また約1か月ごとに部分的な展示替えを実施する。なお第6展示室では、「国宝 源氏物語絵巻（複製）」の展示およびビデオによる同絵巻の解説を行なっているが、来館者にとってより有効なスペースの利用法を検討の上、年度内にリニューアル工事を実施する予定である。

特集展示を行うコーナーとしては、第1展示室で「名刀コレクション」、第5展示室で「国宝 初音の調度」を順次数点ずつ紹介する。

###### ②特別展（第7～9展示室）

###### ア. 特別展「花咲（わら）い、風の吹くらん」

4月13日～6月2日

咲き誇る花、花を散らす風など変化に富んだ自然現象に注目しながら、人びとが詩歌に詠み心情を投影してきた古典文学や絵画・工芸などにみられる風雅の世界を紹介する。

###### イ. 特別展 御霊屋改修記念「尾張徳川家と菩提寺建中寺」

6月8日～7月21日 中日新聞社共催

尾張徳川家初代義直の供養のため2代光友によって創建され、以後菩提寺として尊崇を集めた建中寺について、尾張徳川家とともに歩んできた歴史と、ゆかりの宝物を紹介する。

###### ウ. 夏季特別展「もののふの備え 甲冑の美学」

7月27日～9月16日

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会主催・読売新聞社共催

色彩豊かな威糸で装飾された中世の大鎧、個性を競うかのような戦国の当世具足など、身を守るという機能を追求しながら、華やかさも重視された日本の甲冑について、歴史と美しさを紹介する。

###### エ. 秋季特別展「みやびの世界 魅惑の源氏物語」

9月22日～11月4日

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会主催・中日新聞社および日本経済新聞社共催

千年にわたり読み継がれてきた古典の名作である紫式部の『源氏物語』について、

文学をはじめ、美術工芸や芸能に及ぼした文化史を紹介し、その魅力を紐解く。

オ. 特別展「尾張徳川家の雛まつり」

2月1日～4月2日 中日新聞社共催

御三家筆頭の格式と豪華さを具現する尾張徳川家の雛人形・雛道具を展示する。

③企画展（名古屋市蓬左文庫展示室）

ア. 企画展「人・ひと・ヒト 浮世絵の人と顔」

4月13日～6月2日（上掲②ア. と同時開催）

浮世絵の歴史の中で中心的ジャンルであった美人画と役者絵を中心に、誰を描くか、どう描くかなど、浮世絵の人物表現の諸相を紹介する。

イ. 企画展「ハマる！工芸」

6月8日～7月21日（上掲②イ. と同時開催）

巧みな素材の組み合わせや卓越した技術が隠されている漆工品や金工品、陶磁器などの工芸作品について、「ハマる」をキーワードに、様々な姿や秘密に迫る。

ウ. 夏季特別展「もののふの備え 馬とともに」

7月27日～9月16日（上掲②ウ. の展覧会と併せて共催展を構成）

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会主催・読売新聞社共催

武士社会において馬術は必須の嗜みであり、馬の気高い姿は称賛され美術の対象にもなった。武士とともに生きた馬の魅力を、多様な作品を通して紹介する。

エ. 秋季特別展「みやびの世界 宮廷文化の華」

9月22日～11月4日（上掲②エ. と併せて共催展を構成）

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会主催・中日新聞社・日本経済新聞社共催  
平安時代以降に宮廷のなかで育まれてきた文化である和歌や物語などの古典文学や大陸伝来の雅楽や薫物を中心に、宮廷で華開き、長らく伝えられてきた雅びの文化を紹介する。

オ. 企画展「とんがり美術ーキワだつ個性ー」

11月9日～12月15日

独特の雰囲気や印象を発し、他とは一線を画する、個性豊かな作品たちを本展では「とんがり美術」と総称し、それらが誕生した原因を追跡する。

カ. 企画展「めでたきかな お正月」

1月4日～1月26日 毎日新聞社共催

門松を立て、鏡餅を供えるなど、現在に至るまで日本人の年中行事のなかで最も大切にされてきたお正月の営みについて、さまざまな「めでたい」アイテムや、その由来を紹介しながら年の初めを寿ぐ。

キ. 企画展「江戸絵画に新風が吹く」

2月1日～4月2日（上掲②オ. と同時開催）

本草学の進歩や文学・芸術における復古思潮などを背景に、絵画史にも新たな変化が見られた江戸時代後半、名古屋地域でも顕著な新潮流となった「長崎派」「南画」および「復古やまと絵」の作品を紹介する。

④特別公開

ア. 「国宝 源氏物語絵巻」関屋・絵合および竹河二を11月16日～24日の間、第5

展示室で特別公開する。

イ.「千利休 泪の茶杓」を2月22日～3月2日の間、第2展示室で特別公開する。

#### ⑤館外展示

「徳川美術館展 尾張徳川家の至宝」と題した展覧会（巡回展）を徳川美術館、あべのハルカス美術館、サントリー美術館および読売新聞社の主催により以下の通り実施する。

あべのハルカス美術館 4月27日～6月23日

サントリー美術館 7月3日～9月1日

#### ⑥特別観覧

ア. 大学・研究機関等の研究目的による特別観覧に一定の条件下で応じる。

イ.「徳川茶会」を10月13・14・19・20・26・27・11月3・4日（計8日間）に開催予定。併せて一部収蔵品について参加者向けの特別観覧を実施する。

### (2) 修理・保存、収集

「国宝 初音蒔絵調度 文台・硯箱」について、①国庫補助金「国宝重要文化財等保存整備費補助金」（国庫補助事業）による修理、および②（公財）住友財団「文化財維持・修復事業助成」による修理を行う。

作品収集については寄贈の申し出を受け検討する。

## 2. 調査・研究

### (1) 学芸部における調査・研究（継続）

①館蔵品調査、②尾張徳川家御道具帳のデータベース化、③尾張徳川家関係寺社蔵品調査、④尾張徳川家に関連する政秀寺所蔵什宝の調査、⑤幕末明治浮世絵の研究、⑥尾張藩御用絵師の研究、⑦大名家における絵師の絵画活動についての研究、⑧尾張における画家の活動についての研究—田中訥言を中心に—、⑨武家女性の生活史の研究、⑩尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書についての研究、⑪唐絵の受容史的研究、⑫茶道史の研究、⑬尾張徳川家の仏教絵画の研究、⑭刀剣に関する研究、⑮尾張徳川家に関する古典籍および古文書の研究、⑯漆工品および刀装具に関する研究、⑰岩佐又兵衛および岩佐派の研究、⑱尾張徳川家における演能の研究

### (2) 徳川林政史研究所との連携研究(継続)

①尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究、②尾張徳川家関連史料に関する基礎調査・研究、③その他、展示・教育普及事業への協力および研究交流の促進

### (3) 収蔵品データベースの構築および研究用図書類の整備(継続)

### (4) 研究成果の公開・公刊等

①定期研究発表会 7月（第84回）および2月（第85回）を予定。

②特別展図録等の作成・頒布

「徳川美術館展 尾張徳川家の至宝」（巡回展図録）、秋季特別展「魅惑の源氏物語」（図録）、特別展「尾張徳川家と菩提寺建中寺」（簡易図録）の各展覧会に際し、各々図録を作成予定。

③金鯉叢書第52輯（「研究紀要」第59号）の編集・刊行

④美術館日より「葵」第130号～133号の作成・配布

(5) 大名道具収蔵館研究会

当館を幹事館の一つとして研究会を実施。

3. 教育・普及

(1) 記念講演会

企画展「人・ひと・ヒト 浮世絵の人と顔」、夏季特別展「もののふの備え 甲冑の美学」、秋季特別展「みやびの世界 魅惑の源氏物語」各展覧会中に1回ずつ開催予定。

(2) 記念講座

企画展「人・ひと・ヒト 浮世絵の人と顔」で特別講座を、特別展「尾張徳川家と菩提寺建中寺」で見学会を、また企画展「ハマる！工芸」で螺鈿特別講座を開催予定。

(3) 土曜講座 以下のテーマとスケジュールで計10回開催予定。

①「アイドル・スター・ヒーロー 浮世絵に描かれた人たち」(4月)、②「うつろいゆくものに美を見出す」(5月)、③「漆工芸の魅力にはまる」(6月)、④「建中寺の歴史と宝物」(6月)、⑤「武装の美」(8月)、⑥「武家社会にみる馬」(8月)、⑦「源氏物語の文化を紐解く」(10月)、⑧「文物を愉しむ 多角的な視点」(11月)、⑨「二つの利休像」(3月)、⑩「百花繚乱江戸絵画」(3月)

(4) 徳川林政史研究所による古文書入門講座

6月・7月の間に計6回、土曜日午後、研究所員を講師として実施予定。

(5) 徳川林政史研究所による江戸学講座

12月から2月にかけて計4回、土曜日午後、研究所員を講師として実施予定。

(6) 博物館実習 11月・12月の間に、5日間実施予定。

(7) 学芸員の見どころトーク

各特別展・企画展において学芸員が展覧会の見どころを紹介。

(8) 組香体験(個人向け) 年度内に2～3回程度実施予定。

(9) 土曜子ども教室および小・中学校の児童・生徒向け教育普及活動

毎月テーマを設定し教室を開催(土曜日は、小・中・高校の児童・生徒は観覧料無料)。

(10) 夏休み子ども特別企画

ギャラリー・クイズ、歴史教室ほかを実施、ガイドブックを作成予定(8月)。

(11) 中学校・高校・大学の生徒・学生の職場体験受け入れ(インターンシップ)

依頼に応じ随時受け入れ。

(12) 団体対応体験プログラム 依頼に応じ随時受け入れ。

(13) 展覧会ごとに展示作品リスト及び背景解説等のパネルを作成し、ホームページ上にも展覧会・作品解説を掲載。また展覧会ごとに英文ハンドアウトを適宜作成(QRコード経由のWEB版を含む)。

(14) 小学校・中学校・高校・大学の生徒・学生向け体験を含めた来館プログラム

依頼に応じ随時受け入れ。

(15) 古美術相談会 年間を通じ、随時対応。

(16) 見学会 年間1回程度実施予定。

(17) 出向・受嘱

依頼に応じ大学・文化センター等への講師や外部組織の職務に学芸員が出向または職務を受嘱。

(18) 協賛事業

①第103回名古屋市文化史教室（事業提携）

「夏休み子ども歴史教室」を名古屋市と共催

②愛知県内の博物館・資料館などをめぐるひなまつりスタンプラリーを実施

4. 会員制度および大学メンバーシップ制度

(1) 徳川美術館メンバーシップ

これまでの「賛助会」「友の会」を統合・リニューアルし「徳川美術館メンバーシップ」として新たな会員制度を令和6年4月に発足させる。基本的には、個人会員に「パートナー会員」「ゴールド会員」「プラチナ会員」の3種、法人会員に「A会員」「B会員」「S会員」の3種の会員区分を設け、それぞれの会費に応じた特典を用意。無料入館や各種催事への優先申し込みなどの優待を提供しつつ、美術館運営に会員からの支援を得る制度とする。

(2) 大学メンバーシップ制度

対象大学(学校)法人（令和6年2月現在36校参加）の学生（一部教職員を含む）への観覧料優待、および対象大学法人への展覧会ポスター・チラシ、イベント案内等の配布・掲示を実施。

[ 公益事業 2 ] 研究所の調査・研究・普及事業（徳川林政史研究所）

1. 調査・研究

(1) 研究所における研究

- ① 名古屋城の構造と儀礼に関する研究 深井雅海（所長）
- ② 尾張藩幕末維新史の研究 藤田英昭（マネージャー）
- ③ 近世の地域社会と森林利用に関する研究 萱場真仁（研究員）
- ④ 近世山村における生活文化に関する研究 萱田寛也（研究員）
- ⑤ 徳川斉朝正室淑姫の御守殿に関する研究 吉成香澄（非常勤研究員）
- ⑥ 近世館林藩領における藻草等の採取と利用 坂本達彦（特任研究員）

(2) 徳川美術館との連携における研究

- ① 尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究
- ② 尾張徳川家関連資料に関する調査・研究
- ③ 展覧会事業への協力・史料出品
- ④ 教育普及事業への協力および研究交流の促進

(3) 研究成果の公開・公刊

- ① 課題研究に関する中間報告を兼ねた研究会の開催
- ② 『金鯰叢書』第52輯（『研究紀要』第59号）の編集・刊行
- ③ 所蔵史料の編集・刊行（『史料纂集 儀物軌式』（八木書店））
- ④ 史料調査の成果公開（ブックレット・翻刻史料集の刊行）

(4) 「尾張徳川史」編纂準備（尾張徳川家編年データベースの整備、史料翻刻）

(5) 尾張徳川家関連資料の調査・研究

(6) 史料調査

- ① 林政史アーカイブズ調査
  - ア. 岐阜県中津川市加子母地域
  - イ. 金沢市立玉川図書館近世史料館
  - ウ. 岐阜県可児市木曾古文書館
- ② 研究資料（複写・写真撮影資料を含む）の調査・収集
  - ア. 犬山城白帝文庫
  - イ. 犬山市文化史料館
  - ウ. 八雲産業株式会社八雲事業所
- ③ 収集史料データおよび史料所在情報の整理・公開作業

(7) 調査・研究における他機関との連携・協力

名古屋市蓬左文庫、名古屋城調査研究センター、犬山城白帝文庫、名古屋市博物館、徳川記念財団他、国立公文書館・国文学研究資料館他の資料保存機関、大学・学会と連携・協力し調査・研究を実施する。

2. 史料・図書の整理

(1) 所蔵史料の整理

- ① 史料整理及び目録作成



徳川林政史研究所収集史料、山村・千村家文書 他

(2) 所蔵史料の目録刊行 (『金鯨叢書』第52輯 [『研究紀要』第59号] に掲載)

- ① 尾張徳川家文書目録(19)
- ② 石河家文書目録(17)
- ③ その他

(3) 所蔵史料データベースの構築および保存

① 所蔵史料データベースの構築

尾張徳川家文書、石河家文書、尾張国各郡史料、蟹江鈴木家文書、他

② 目録データベースの検索・活用方法ならびに公開作業 (ホームページでの検索システム構築)

(4) 史料のデジタルデータ化

所蔵古写真、所蔵史料、調査収集史料写真のデジタルデータ化の促進

(5) 史料の購入・補修 (活動支援基金)

(6) 書庫内の整理ほか保存環境の保全

① 寄贈史料の燻蒸

(7) 研究用図書を購入、整理

(8) リポジトリ掲載雑誌検索作業および当該雑誌の除籍作業

### 3. 教育・普及

(1) 講座・講演

- ① 東京開催の「徳川林政史研究所公開講座」(豊島区、2回)
- ② 徳川美術館「徳川林政史研究所 古文書入門講座」(全6回)
- ③ 徳川美術館「徳川林政史研究所 江戸学講座」(全4回)
- ④ 史料調査と関連付けた講座・講演(中津川市加子母、1回)

(2) ホームページによる情報発信

- ① ホームページを活用した尾張藩政史・幕政史・林政史の研究成果の普及
- ② ホームページを利用した情報発信の促進

(3) 出講・受嘱

① 出講

大東文化大学、学習院大学、学習院女子大学

② 受嘱

外部機関からの依頼にもとづき、必要がある場合は研究員を派遣

### 4. 若手研究者の育成

非常勤研究員・研究生による、①研究会の開催②史料整理・目録作成作業③徳川美術館・名古屋市蓬左文庫の見学研修④その他、史料調査・研究・普及活動などへの参加を通じ、若手研究者の育成に努める。

### 5. 閲覧・出陳・レファレンス業務

(1) 史料閲覧

閲覧許可日：毎週火曜日・水曜日

- (2) 史料出陳
- (3) 所蔵史料写真の貸し出しおよび複写サービス
- (4) レファレンスへの対応

6. 事業評価委員会の実施（3月）

## Ⅱ.収益事業

### [ 収益事業1 ] 不動産賃貸事業（本部・総務部）

#### 不動産賃貸事業

外国人向け住宅の賃貸事業（全6棟）を継続する。

### [ 収益事業2 ] ミュージアムショップ、施設貸出利用、宝善亭等の運営事業（徳川美術館）

#### 1. ミュージアムショップの運営

売上・収益の向上に向け、売店・オンラインショップの環境整備、オリジナル商品の拡充と有名企業とのコラボ商品開発、SNSを活用した商品告知、オンラインショップの活用(海外展開含む)、小売・通信販売事業者等と連携したイベント、他館での委託販売、等を実施。またこれらに沿って販売強化及び人材育成を図る。

#### 2. 施設貸出

依頼に応じ、随時外部団体・法人等への講堂・茶室等美術館施設の貸出業務を行う。

#### 3. 宝善亭・コーヒーラウンジの利用促進

業務委託先との連携を強化しつつ、収益向上を図る。

### Ⅲ.管理業務

#### [ 本部・総務部 ]

法人の円滑な事業推進、運営管理のため、徳川美術館、徳川林政史研究所の各事業部門、管理部門の担当業務を支援し、掌理・統括する。

#### [ 徳川美術館 ]

##### 1. 施設管理・営繕

- (1) 設備不具合等への緊急対応をはじめ、中長期計画に基づいた施設・設備の修繕および更新を適切に実施し、また美術館業務や来館者利便性向上に必要なシステム・機器の整備、環境を構築する。
- (2) 令和6年度においては、5年目となる文化観光拠点計画の実施として、第6展示室のリニューアル、ホームページの改修、一部展示ケースの更新等を実施する予定。

##### 2. 展覧会関連イベント等の企画・運営

- (1) 源氏物語絵巻をテーマとするプレミアム・ナイトイベント、子どもナイトミュージアム等ナイトタイムイベントの開催を検討。
- (2) 旅行会社・団体・法人等の需要に応じ、夜間貸切開館の実施を検討。

##### 3. 運営資金管理

- (1) 活動支援基金に係る管理事務を遂行しつつ、寄附の受け入れを拡充するための各種方策を検討する。
- (2) 補助金管理について、①国庫補助金に係る交付申請および管理事務、②民間補助金に係る交付申請および管理事務を遂行しつつ、③文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業について、関係当局等と協議しつつ第5年目の事業を実施するとともに、その他の文化庁補助事業に参加する。

##### 4. 広報

文化庁コーチング指導（令和5年度）による広報戦略、また外部専門業者等と連携し実施してきたWEB解析、アンケート等来館者調査のなどのマーケティング結果等に基づく積極的な広報を実行する。展覧会計画や教育普及プログラムと連携しつつ、SNS・WEB施策等の新しい広報手段の活用も視野に入れ、効果的な広報活動を推進する。幅広い顧客層に向けての企画実施や館内収益性イベントのアピールを強化する。尚、徳川美術館のホームページのリニューアルを実施、年度内の公開を目指す。また、令和7年度は開館90周年にあたることを念頭に、令和6年度から告知等の準備を開始する。

##### 5. 営業

国内旅行、高校修学旅行、及びMICE誘致に注力した営業活動を強化する。

- (1) 団体・個人向け旅行誘致や、旅ナカ需要獲得の為の活動
  - ①(一社)愛知観光協会、(公財)名古屋観光コンベンションビューロー主催の営業セールス、およびオンライン商談会の参加
  - ②WEB における情報発信や、魅力を伝えるコンテンツを強化（オンラインチケット購入者へメルマガ配信、YouTube 動画配信など）
  - ③市内宿泊施設、鉄道会社、タクシー会社と相互連携し、遠方から名古屋への集客企画、旅ナカ（旅の途中での観光）需要の獲得。
  - ④体験講座・解説付き見学プランや閉館後の夜間貸切など、付加価値のあるプランを提案
- (2) 高校修学旅行誘致のための活動
  - ①国際社会におけるアイデンティティ教育を視野に、教育普及と連動した誘致のための活動を計画、実施する（体験プログラムの拡充）
  - ②地域内で連携可能な他施設（名古屋港水族館など）と調整した訪問営業活動を実施する。
- (3) 法人営業
  - ①MICE 招致を推進する機関と連携し、法人・宿泊施設等へ向けた営業活動を推進する。
  - ②年間スケジュールや、集客が見込める展覧会の情報発信を継続する。

#### 6. ボランティアの会運営 以下の活動を行う。

- (1) 新規解説員の育成・採用
- (2) 第 13 期生の採用（予定）
- (3) 展示解説の標準化（マニュアルの改訂と解説・画像ソフトの開発）を推進する。
- (4) 能力（スキル）向上のための研修会および見学会を実施する。
- (5) ボランティア懇親会の実施（再開）

#### 7. 外部組織との連携

- (1) 徳川美術館運営懇話会（第 31 回）を 9 月頃開催予定。
- (2) 徳川園各施設との連携  
月度連絡会議、徳川園調整会議（1 月下旬）等で連携しつつ、共通 WEB サイトを設け、利便性の向上を図る。また各施設と連携しつつ、名古屋市の歴史文化基本構想を活かした観光推進事業に参加、協力する。

#### 8. 他の美術館・博物館との連携

大名道具収蔵館研究会、私立美術館会議、(公財)日本博物館協会・(一社)全国美術館会議・愛知県博物館協会等と連携する。

#### 9. 来館者対応強化

優れた人材の確保・育成により顧客対応力を向上させ来館者満足度を一層高めることにより来館者数向上を図る。また来館者ニーズの把握・分析のためのアンケート調査を年度を通じて実施する。

#### 10. 観覧料金

- (1) 入館料

一般 1,600 円・高大生 800 円・小中生 500 円

(2) 前売券（オンラインチケット）販売期間の改定

展覧会初日の約 1 か月前に前売券発売（価格：一般 200 円引、その他 100 円引）、  
展覧会初日から最終日までの期間は、オンラインチケットの価格は定価販売とする。

(3) 前売ペアチケット販売

夏季特別展「もののふの備え」、秋季特別展「みやびの世界」、特別展「尾張徳川家の雛まつり」  
の各展覧会を対象として、2,700 円（一般 2 名分）のペアチケットを販売する。但し、ペアチ  
ケットは前売りのみとし展覧会初日以降は販売しない。

[ 徳川林政史研究所 ]

1. 補助金

(1) 国庫補助金(特定奨励費およびその他の科学研究費)に係る交付申請および管理事務

(2) 民間助成金(上廣倫理財団助成金、他)に係る交付申請および管理事務

2. 活動支援基金

(1) 活動支援基金に係る管理事務

[ 公益事業 2 ] 研究所の調査研究普及事業（徳川林政史研究所）2.(5)に記載

3. 設備管理

(1) 小荷物専用昇降機などの附帯設備の修理補修等